

スマホアプリで手軽に海での三つの安心  
**海の安心見守りサービス『JM-Safety』提供開始**

日清紡ホールディングスは、海難事故の撲滅に向けたスマートフォン用アプリケーション・海の安心見守りサービス「JM-Safety（ジェイマリン・セーフティ）」の提供を4月1日から開始します。



日清紡グループの無線・通信事業を担う日本無線が、漁船やプレジャーボートなどの小型船舶の事故低減を支援する取り組みを進めており、2014年にスマホアプリ「JM-Watcher」、2020年3月に同「JM-Watcher II」をリリースしています。周囲の船舶の接近や地震・津波など急な周囲状況の変化を警告することで、安全安心な航海・マリンレジャーをサポートし、アプリのダウンロード数も累計で4万件を超えました。

今回、このアプリに海中転落事故に対する早期通報を支援する落水検知機能（オプション）を追加し、名称も「JM-Safety」に一新します。海の安心見守りサービスとして「落水検知」、「船どこシェア」、「安否見守り」という「三つの安心」を提供（「安否見守り」は5月以降に提供予定）し、更なる海での安全安心に貢献できるよう進化させます。



海の安全安心や船舶の自律航行の実現には、船舶の航行情報及び各種海洋情報の“見える化”が不可欠です。日清紡グループでは、「JM-Safety」の普及とサービスの充実を通じて、船舶をはじめとする海の安全安心・海難事故の撲滅に努めています。

## JM-Safety の概要

日本の周辺では、毎年 2,000 隻以上の船舶事故が発生しており、そのうち 7 割以上を占める小型船舶の安全対策が喫緊の課題となっています。そのため、一定規模以上の船舶には船舶自動識別装置（AIS）の搭載が義務付けられており、船舶同士が航行状態などの情報を発信しています。しかし、AIS を搭載していない小型船（ミニボート等を含む）での安全の確保は、見張りに頼らざるを得ません。

また、近頃、屋外レジャーが注目され、手軽なミニボートや手漕ぎボート、釣りなどを楽しむマリンレジャー人口が増えており、これに伴う海中転落などの海難事故も増加傾向にあります。

これらの海での課題に対して、「JM-Safety」では、次の「三つの安心」を提供します。

### ● 「船どこシェア」

船舶事故の低減を目的とした機能です（本機能は「JM-Watcher II」で提供する機能と同等）。「JM-Safety」を起動させたスマホを船舶に持ち込むことで、周囲の AIS 搭載船や「JM-Safety」アプリ利用者の位置情報や状況の表示、他船の接近警報や衝突予測を通知します。

### ● 「落水検知」

海中転落事故の早期通報を支援する機能です。落水検知ユニットをネックストラップ等で携帯することで、万が一落水した場合、周囲の「JM-Safety」アプリ利用者に、その事実と位置情報が通知されます。落水の早期通知による迅速な救助対応が可能となり、乗船中だけではなく、磯釣りなど海辺のレジャーにも有効です。

### ● 「安否見守り」

海へ行く「JM-Safety」アプリ利用者の状況を遠隔で確認できる機能です。「落水検知」の利用者のご家族や仲間などを事前登録することで、落水状況の通知や現在位置を把握することができます。（4月1日時点では落水通知のみ提供。その他の機能は5月以降に提供予定。）

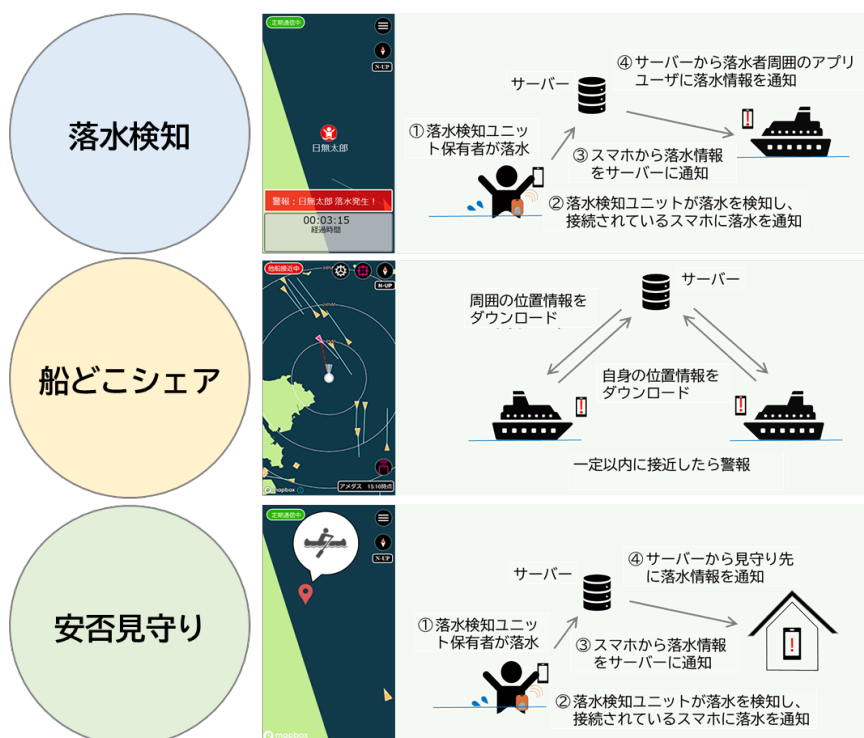
なお、「落水検知」や「安否見守り」の機能はサブスクリプション型サービス「JM-Safety プレミアム」として提供いたします。詳細は、以下の「JM-Safety」公式サイトにてご確認ください。

## ■ 「JM-Safety」公式サイト

<https://www.jmarinesafety.jp/>



## ■ 「JM-Safety」の主な仕組み



## ■ 「JM-Safety」対応 OS

- ・ iOS : 13.0 以上
- ・ Android™ : 7.0 以上

※ 動作環境を満たす、すべての端末での動作を保証するものではありません。

※ 本アプリはスマートフォン専用に開発しており、スマートフォンでのご利用が推奨環境となります。  
(iPad、タブレット端末において、アップデート後は上手く動作しない場合があります。)

## ■ 「JM-Safety」料金プラン

プレミアムプラン		フリープラン
6,600 円	年会費	無料
○	落水検知機能	×
○	船どこシェア機能	○
○	安否見守り機能	×

- ・ 価格は消費税を含んでいます。
- ・ プレミアムプランのご利用には、専用の落水検知ユニット（別売）が必要となります。
- ・ プレミアムプランは、お客様からの解約手続きがない場合、2年目以降は自動継続となります。

## ■ 落水検知ユニット概要

項目	諸元
通信方式	Bluetooth Low Energy (Version 4.2)
最大通信距離	約 10m (見通し)
本体サイズ	60mm×43mm×21mm
本体質量	約 40g
電池寿命	約 2 年 (使用状況によって異なる)
筐体材質	ポリカ ABS 樹脂
動作環境温度	-20℃～50℃

## ■ 「JM-Safety」 AIS 対応エリア



- |        |            |
|--------|------------|
| 東京湾    | 錦江湾 (鹿児島湾) |
| 駿河湾    | 相模湾        |
| 伊勢湾    | 関門海峡       |
| 瀬戸内周防灘 | 瀬戸内播磨灘     |
| 豊後水道   | 瀬戸内備讃瀬戸    |
| 福岡市付近  | 瀬戸内安芸灘     |
| 津軽海峡   | 瀬戸内伊予灘     |
| 八戸市付近  | 大阪湾        |
| 仙台市付近  | 紀伊水道       |
| 相馬市付近  | 潮岬周辺       |
| 境港市付近  | 土佐湾        |
| 富山湾    | 種子島周辺      |
| 新潟市付近  | 奄美大島周辺     |
| 広島湾    | 沖縄本島(中部)   |

以上